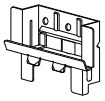
1時間・30分耐火構造 共通
鉄骨下地



通気金具施工

横張り

モエンエクセラード 16～21mm厚品
1.5尺×10尺、1.5尺×6尺

鉄骨下地組基本構成図

・鉄骨胴縁はC形鋼（C-100×50×20×2.3以上）または角形鋼管（□-100×50×2.3以上）で縦胴縁とし、610㎜以下の間隔で組んでください。

・モエンは風荷重を受けますので、下地材は設計計算により610㎜以下の所定の間隔になるように設定してください。

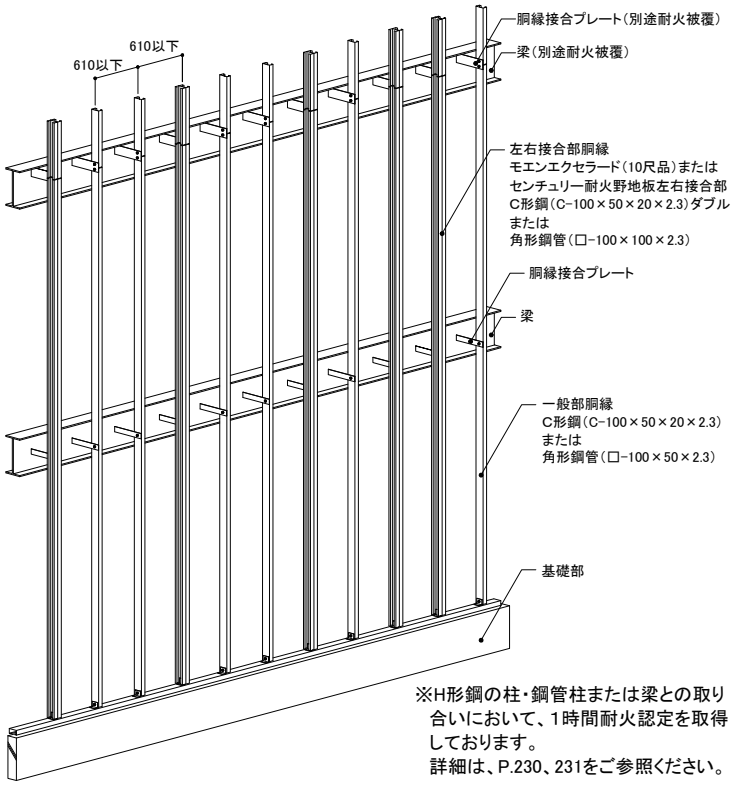
・モエンエクセラード（10尺品）の左右接合部およびセンチュリー耐火野地板の左右接合部は、C形鋼をダブルで組むまたは角形鋼管（□-100×100×2.3以上）としてください。

・モエンエクセラード（6尺品）の左右接合部はC形鋼または角形鋼管（□-50×100×2.3以上）でも可能です。

・鉄骨躯体梁にあらかじめ胴縁接合プレートを留め付けておいたものに、不陸を調整しながら鉄骨胴縁を留め付けてください。

・下地躯体の梁および胴縁接合プレートは別途耐火被覆してください。

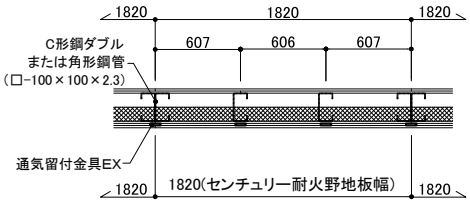
・階高さなど、鉄骨胴縁の上下留め付け間隔が長くたわみが大きくなる場合は、胴縁間隔を狭めたり、耐風梁を入れるなど鉄骨胴縁のたわみ変形を1/200以下に抑えるよう設計してください。



※H形鋼の柱・鋼管柱または梁との取り合いにおいて、1時間耐火認定を取得しております。
詳細は、P.230、231をご参照ください。

横張り四方合いじゃくり品

・屋外側はセンチュリー耐火野地板働き長さ（1820㎜）ごとにC形鋼胴縁がダブルまたは角形鋼管（□-100×100×2.3以上）で必要になります。一般部およびモエンエクセラード左右接合部は610㎜以下の間隔にC形鋼胴縁または角形鋼管胴縁を取り付けてください。

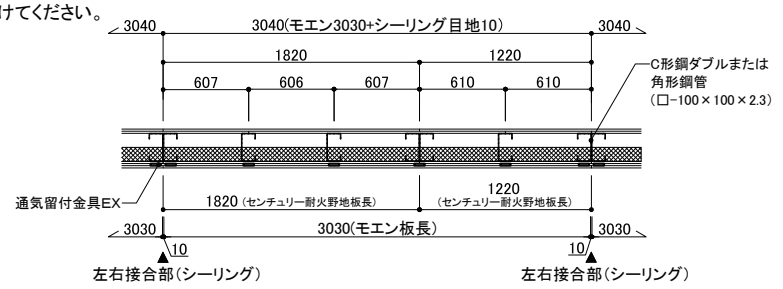


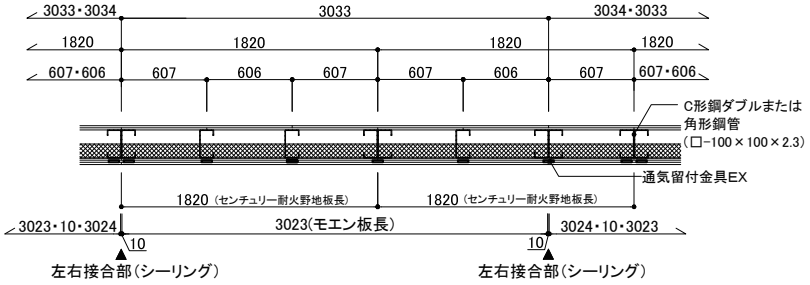
※1時間耐火構造の場合、四方合いじゃくり品、10尺品ともに室内側強化せっこうボードの上張りは、下張りの強化せっこうボードと縦目地横目地ともに重ならないようにずらして張ります。

横張り10尺品

■センチュリー耐火野地板とモエンエクセラードの目地を合わせて下地組みを割り付ける場合

・屋外側はモエンエクセラード（シーリング幅を含めた）働き長さ（3040㎜）ごとおよびセンチュリー耐火野地板（1820㎜、1220㎜）ごとにC形鋼胴縁がダブルまたは角形鋼管胴縁（□-100×100×2.3以上）が必要になります。一般部は610㎜以下の間隔にC形鋼胴縁または角形鋼管胴縁を取り付けてください。



■センチュリー耐火野地板（板長1820㎜）を切断せずに下地組みを割り付ける場合

・センチュリー耐火野地板（1820㎜）ごとにC形鋼胴縁がダブルで必要になります。また、モエンエクセラードのシーリング幅を含めた働き長さ（3040㎜）ごとにもC形鋼胴縁ダブルまたは角形鋼管胴縁（□-100×100×2.3以上）が必要になります。